日本学術会議第二部会（第21期・第4回）議事要旨

I 日 時 平成21年8月18日（火）10:00～13:00

II 場 所 大阪大学中之島センター 2階 講義室1

III 出席者（敬称略）

（35名）

浅島、今井、春日、唐木、北島、桐野、黒岩、斎藤、生源寺、白鳥、菅村、清木、竹縄、谷口（直）、富樫、戸塚、西澤、野本、橋田、林、廣橋、福井、福永、真木、松澤、三品、満屋、飯塚、矢澤、矢野、山内、山本（正）、米田、鷺谷、渡邊 の各会員

（事務局：廣田、青池、小川、三武）

IV 議事概要

1 開 会

事務局が、定足数を確認の上、開会した。

2 新会員の紹介

清木元治会員、福永哲夫会員が平成21年6月1日付けで会員に就任したことに伴い、両会員の紹介を行った。

3 前回議事要旨（案）の確認

各先生方にご一読いただき、意見等があれば、事務局まで申出ることとした。

4 「科学者委員会 学術誌問題検討分科会」の検討状況についての報告

浅島部長（科学者委員会 学術誌問題検討分科会委員長）から、同分科会の検討状況について、資料3「科学者委員会学術誌問題分科会「国内発行の英文誌発行の必要性、発刊体制」WG検討内容報告 論文誌発信力強化のための施策案」について報告を行った。

また、同席した永井裕子・科学者委員会 学術誌問題検討分科会委員から、補足説明等があった。

その後、会員との意見交換を行った。

会員からは、

- ・ J B (Journal of Biochemistry) は稼いでいるのではないか。調査を行ってほしい。ジャーナルの中にはアソシエイトエディターにお金を出しているところもある、編集委員会旅費を含めて、資金的支援をお願いしたい。
- ・ 日本医学会はジャーナルの検討を始めた。学会と I S P J との整合性を考えねばな

らない。縦割りでは駄目なのではないか。
といった発言があった。

これに対し、浅島部長から、国際的なステータスを作る必要性を説明した。

また、会員からは、

- ・支援体制を構築するという点は素晴らしい。しかし、多くのジャーナルがオープンアクセスとなっている現在、オープンアクセスを抜きには考えられないのではないか。
- ・科研費との連携を考えてはいかがか。
- ・資料3の6ページにある発刊体制の強化のパワーポイントは重要。根っこになる人材と資金の支援が明確でないと学会として賛同しにくい、のりにくい。
- ・冊子はなくなる。オープンアクセスも考えねばならない。電子化されていく現状を見越して、施策を考えねばならない

などといった意見があった。

これに対し、永井委員から、オープンアクセスジャーナルは、現在6%ほどである。多くは購読モデルを基本としている。オープンアクセスチョイスなど、論文単位でのオープン化の方策はいくつもあるので、オープンな論文は増加している。しかし、「費用は誰が負担するか」といった問題があるのではないか。同時に、学会には出版費用をどうするかといった問題がある。オープンアクセスのように見えるのは、「機関が購読を行っている」ためであることもであると説明があった。

5 「日本の展望委員会」への取り組みについて

浅島部長から、資料4「日本の展望 - 生命科学からの提言（案）」、資料5 - 1「日本の展望委員会 - 生命科学作業分科会 - 第四期科学技術基本計画に盛り込むべき課題と論点」及び資料5 - 2「第四期科学技術基本計画への日本学術会議の提言（第一次素案）」に基づき説明等を行った。また、浅島部長から、8月14日の日本の展望委員会において生命科学からの提言案について説明したところ、全体の整合性をとってほしい、また、もう少し提言を具体的に書いてほしいと意見が出た旨説明があった。

また、山本幹事から、生命科学からの提言案について、今までの案との主な変更点は、21ページの5にあるように、「生命倫理」についても書いた方がよいとの指摘があり、浅島部長に原案を作成していただいた。桐野会員、室伏会員にもご尽力いただいた。最終版になるまでまだ時間があるので、何かあれば、ご意見をいただきたい。最終的に30ページ程度の提言書にする必要があるので、本案に舌足らずの部分があったら、ご意見をお願いしたいと発言があった。

次に、鷺谷幹事から、資料5 - 2「第四期科学技術基本計画への日本学術会議の提言（第一次素案）」について、これは日本の展望委員会の各作業分科会から起草分科会に提出されたものを同分科会の海部委員が取り急ぎまとめたものであるが、生命科学作業分科会からも意見等があれば、出した方がよいかもしれないと説明があった。

その後、同案について審議を行った。

会員からは、

- ・食糧自給の問題は重要。そういう問題を学術会議として入れてもらえるとありがたい。
- ・「第四期科学技術基本計画への日本学術会議の提言（第1次素案）」について、生命科学から盛り込むべき課題と論点として同分科会に提出した内容が、第1次素案に盛り込まれていないのではないか。

などといった意見があった。

これについて、浅島部長から、まだこれは第1次素案のため、生命科学としても起草分科会に意見は出せると思うので、意見があれば出してほしい。については後日、事務局経由で各会員にメールで、資料5-2「第四期科学技術基本計画への日本学術会議の提言（第1次素案）」についての意見照会を行うので、意見等があれば加筆等を行い、第二部役員等にメールで提出してほしいと発言があった。

6 その他

今回の大阪大学中之島センターで夏季部会及び公開シンポジウムを開催するにあたり、世話人としてご尽力いただいた、大阪大学の谷口直之会員はじめ、柳田敏雄会員、米田俊之会員、松澤佑次会員に対し、謝意を表した。

以 上